

## 南城陽中学校の生徒の皆さんへ

生徒の皆さんこんにちわ。早いものでカレンダーも残り1枚となりました。2学期の定期テストもすでに終了し、楽しい冬休みを待つばかりのことと思います。

このたび生徒の皆さんより多額の義援金や心のこもった応援メッセージをお贈りいただき誠にありがとうございました。さっそく義援金やメッセージをいただいたことを本校生徒や先生方にご披露させていただきました。義援金につきましては、部活動がとても盛んであることから、部活動費として使わせていただきます。応援メッセージにつきましては、廊下に展示し、自由に見れるようにしてあります。本当にありがとうございました。

今回、皆さんの学校を初めて訪れた第一印象は、生徒の皆さんの朝のあいさつや表情などからとても明るく素直で礼儀正しい生徒さんであると感じました。このような皆さんに拙い講演ではありましたが聴いていただき大変光栄です。講演をどうして皆さんに感じ取っていただきたかったことは、避難生活を余儀なくされながらも一生懸命頑張っている生徒の姿です。応援メッセージのなかにも、被災しながらも一生懸命頑張っている姿に感動し、自分も頑張らなければという内容のメッセージが多くあり、とても嬉しく思いました。

本校は原発事故により避難を余儀なくされ、3年生にとりましては高校の選択が本当に難しい状況にあります。家庭のさまざまな事情もあり自分の希望だけで高校を選択できない状況にあります。3年生は71名おりますが、現在のところ県内36校に及ぶ高校への志願を希望しております。南城陽中学校の3年生の皆さんも進路の選択で大変なことと思います。

最後になりますが、南城陽中学校の生徒の皆さんのますますのご活躍をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

平成23年12月7日

福島県双葉郡大熊町立大熊中学校長 齋藤芳信